

# 関西大学幼稚園

## 2020 年度学校評価報告書



2021 年 3 月

# 目次

## 2020年度 関西大学幼稚園 学校評価（自己点検・評価）分析

1	本園の概要	1
2	今年度の教育活動状況	1
3	評価の実施にあたって	2
4	評価の分析	3
5	学校関係者評価委員会からの評価結果	15
6	「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書	18
7	アンケート結果	19

## 1 本園の概要

関西大学幼稚園は、教育基本法を十分に尊重し、すべての園児が各自の人間性や能力を全面的に開花させていくことを目的として1951年に開設され、創立69年目を迎えている。

本園は、「自主性の陶冶」、「協同性の涵養」、「生きる力の育成」の3本の柱を教育の基本方針とし、様々な環境や境遇に育った子どもたちが、幼稚園の新しい環境と集団生活に適応できるように教育活動を実践している。「いきいきと自己表現ができ、積極的にいろいろなことに取り組むことのできる子どもにすること」、「みんなで協同して仕事をしたり、遊んだりすることのできる子どもにすること」、「困難に出会った時、前向きに解決していきける豊かな感性と生活の知恵をもつ子どもにすること」を子どもの育ちのなかで見逃すことなく働きかけながら、子どもが子どもらしい感性を発揮し、心豊かに人間らしく育つことを、時代を越えて守っていかなければならないと考えている。

また、本園は自然環境に恵まれ、園舎前面に運動場があり、園庭には楠、桜、いちよう、せんだん、くぬぎ、かえで、つつじ、つばき、きんもくせいのほか、裏山には松、かし等の樹木に囲まれている。また、ざくろ、みかん、柿、ジューンベリー、ブルーベリー等の実のなる木や草花の存在は、子どもたちに四季折々の自然を身近に感じさせる楽しみとなっており、情操教育の一助となっている。

このような環境の中で、教育学や心理学及びその他の諸科学の進歩に即しながら、子どもたちの感覚を豊かにすることに重点を置きつつ、認識、情操、能力、健全な心と体の発達を図るための保育を開設以来積み重ねている。

一方、本園を運営する学校法人関西大学は、「Kandai Vision 150」に基づき、その実現のために、中期行動計画を策定し実施している。本園においても、この枠組みの中で基本方針と中期行動計画の連関を意識しながら教育活動を実践している。

## 2 今年度の教育活動状況

今年度は緊急事態宣言を受け、4・5月は休園し、緊急事態宣言解除後の6月1日から再開した。休園期間中は、保護者に向けて家庭で実践できることを便りで発信し、園との繋がりが持てるように働きかけた。

併設校の利点を生かした大学との連携に関しては、今年度は、関西大学大学院心理学研究科の大学院生が「児童臨床心理学実習」の一環として実施する短期実習や、関西大学国際部との連携で、普段の保育時間中に外国人留学生を招き園児との交流を深める取組、加えて、2017年度から実施している英語を母国語とした留学生との交流を予定していたが、新型コ

コロナウイルス感染症予防のため、学生は遠隔授業、外国人留学生は入国できない状況となり、実施できなかった。しかし、関西大学第一中学校の「総合学習」における生徒と園児の交流は、感染予防に努めながら実施することができ、双方にとって有意義な交流となった。

### 3 評価の実施にあたって

本園の自己点検・評価（学校評価）は、今年度から、関西大学幼稚園教育課程における内容（本園の教育内容）と幼稚園教育要領の5領域との関連に焦点を当て、3年かけて一巡する評価方法とした。

また、幼児教育は、何より保護者（家庭）との連携が重要であることから、保護者と直接関わる「クラス懇談会」において、本園の教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連を伝え、5領域を保育に組み込んでいることを理解していただけたかを点検・評価した。5領域の内容については、事前に保護者に手紙で周知し、理解を深めていただけるようにした。

本園では、下表のように評価活動の年次計画をまとめている。

2020年度 クラス懇談会の内容

	年少組	年中組	年長組
7月	連絡事項	連絡事項	連絡事項
9月	朝・帰りの集まりについて	絵本・絵本の貸し出し	戸外での自由遊びについて
11月	歌・手遊びについて	室内での自由遊びについて	生活（手伝い・片付け・掃除・整理整頓）について

\*クラス懇談会終了後に、アンケートをとり、悩みや質問については次回のクラス懇談会での話題にする。

また、2020年度の本園における主な自己点検・評価活動は以下の通りである。

日付	議題	内容
5月8日（金）	今年度の学校評価について	
5月19日（火）	今年度の保護者アンケートについて	アンケート項目の作成
9月9日（水） 9月10日（木） 9月11日（金）	年少組クラス懇談会にてアンケート実施	今年度の学校評価アンケート集計
9月14日（月） 9月15日（火）	年中組クラス懇談会にてアンケート実施	今年度の学校評価アンケート集計
9月17日（木） 9月18日（金）	年長組クラス懇談会にてアンケート実施	今年度の学校評価アンケート集計
11月12日（木）	年少組クラス懇談会にてアンケート実施	今年度の学校評価アンケート集計

11月16日(月)	年中組クラス懇談会にてアンケート実施	今年度の学校評価アンケート集計
11月17日(火)		
11月19日(木)	年長組クラス懇談会にてアンケート実施	今年度の学校評価アンケート集計
11月20日(金)		
3月2日(火)	教員用アンケート実施・集計	今年度の学校評価アンケート
3月	学校関係者評価委員会開催	

本園の学校評価活動の特徴として、2010年度から保護者にも協力を仰ぎ、保護者と教員との間で本園の教育についての意識が共有できているかを検証している。今年度も、クラス懇談会終了後に保護者アンケートを実施した。回収率は100%であった。

#### 4 評価の分析

##### (1) 年少組9月クラス懇談会

##### 朝の集まり・帰りの集まりについて

##### 【現状の説明】

朝の集まりや帰りの集まりにおいては、教員や友だちの話を聞く姿勢を身に付けること、自分の体験したことや感じたことを自分の言葉で話すことをねらいとしている。3年間の積み重ねは、45分間の一斉授業を柱とする小学校生活の基盤となるものであり、聞く姿勢と積極的に授業に参加する姿勢を培うものと考えている。こうした保育内容は、以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいとの関連を意識して組み立てている。

- 「健康」
  - ・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。
  - ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を見に付け、見通しを持って行動する。
- 「人間関係」
  - ・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。
  - ・身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。
  - ・社会生活における望ましい習慣や態度を見に付ける。
- 「環境」
  - ・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。
  - ・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。
- 「言葉」
  - ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。
  - ・人の言葉や話等をよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。
  - ・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語など

に親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、先生や友だちと心を通わせる。

- 「表現」
- ・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。
  - ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
  - ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。

朝の集まりは、クラス全員が輪になって座り、担任は中央のテーブルに置いたろうそくに火をつけ、その灯りの中で朝の集まりを始める。そして、クラスみんなが手を繋ぎ、友だちと顔を合わせて一人ひとりの子どもの名前を歌うように呼び、「おはよう」の挨拶をする。子どもは自分の名前を呼ばれることで、クラスの一員であることを感じる。また、クラスにどんな友だちがいるか、いつも遊んでいる友だちが今日はお休みなのはなぜなのかと皆で共有し、友だちに親しみを持ち関心が持てるようにしている。(健康・人間関係・環境)

挨拶の後に教員は、身近な自然や季節の変化などに気づかせる話や、季節の歌や手遊びを行い、クラスみんなですれ違ひひとときにしていく。また、身近な日常の話や教員が伝えたいこと等を子どもが聞きたいと思えるように話を工夫し、季節が感じられるようにしている。その話を聞いて、子どもが自分から話したくなるような雰囲気を作るようにしている。(環境・言葉・表現)

年少児は自分と教員が一对一で話している感覚が強く、教員がクラスみんなに話を向けても、話したいことがあると教員のそばに来て話しかける子もいる。他の友だちが話していても思いつくとすぐに自分の思いを伝えたくなり、話をしたくなってしまう姿も見られる。“人の話を最後まで聞いてから、自分の話をする”ことを意識できるように指導していくが、すぐにできるものではなく、その年齢の発達に応じた活動内容を工夫し、日々積み重ねていく。その積み重ねは、日々の生活の中で聞くという力を育み、周りの雰囲気を感じ、集団を感じる力を育むものと考えている。また、教員の問いかけに「はい！はい！」と手を挙げて、自分の思いや考えを話そうとしたものの、いざ当てられると緊張や恥ずかしさからか、話せなくなってしまう姿もよく見られる。一生懸命に話をしても、相手に伝わりにくい場合もある。教員は、大勢の場で話す子どもの気持ちを感じて寄り添いながら、自己肯定感を持ち、伝え合う喜びが味わえるように配慮している。(言葉・人間関係・表現)

帰りの集まりでは、朝と同じように輪になって座り、降園前の時間は絵本を見て落ち着いて過ごす。教員は、子どもたちが幼稚園で遊んだ余韻を感じながら、明日の登園を楽しみに出来るようなひとときを持てるようにしている。そして、友だちと手を繋いで帰りの歌を歌って、降園の時間を迎える。(健康・人間関係・環境)

毎日の集まりの経験を通して、年少児は、教員や友だちの話を聞いたり、自分の思いを聞いてもらう体験を重ねることで、相手の話が聞けるようになる。そのため教員は、日頃の生活や遊びの中でも、子どもの話を聞くことや子ども同士の会話に耳を傾ける

ことを大切にしている。年中・年長児においては、これまでの積み重ねにより、長い時間でも落ち着いて話が聞けるようになってきているが、教員は目の前の子どもの姿から、子どもがイメージを持って自分の話を聞いているかを常に確認しながら耳を傾けている。年長児は友だちの話を聞き、自分の思ったことや感じたことを言葉で表現できるようになると、クラスみんなでの話し合いの場でも、活発に自分の意見を伝え合う姿が見られるようになってきている。(健康・人間関係・環境・言葉・表現)

9月に行った年少組のクラス懇談会では、保護者の方にろうそくの灯りのもとの手で繋いで一人ひとりの名前を呼び、朝の集まりを体験して頂いた。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、『朝・帰りの集まり』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。』の設問に対して、「A：思った」が98.3%、「B：まあまあ思った」が1.7%であり、100%に近い保護者に理解していただけていることがわかる。また、『朝の集まり・帰りの集まり』の話を聞いたり、一緒に行ったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』の設問に対しては、「小さな輪になることで、子どもたちが朝から安心して一体感を持てるのが素敵だなと思いました。」「先生方が教育要領をつなげてよく考えてくださっていることがよくわかりました。」「季節に応じて先生が様々な語り掛け、歌や手遊びをしてくださったりしてとても幸せな満ち足りた時間だと感じました。」という回答があり、朝の集まり・帰りの集まりにおいて本園が大切にしていることを理解して頂いたことがわかる。また、朝の集まりを体験して頂いたことで、「現代社会の中では“動”や“明”が多い中で“静”や“暗”を毎日体感することは心の落ち着きや集中力が養われ、とても良いことだと思います。」「ろうそくをつける意味や、一人ずつ名前を呼ぶ意味などを教えて頂いてなるほどと、とても納得しました。」といった、本園の保育観に触れるような回答があった。今の社会は情報があふれ、様々な生活騒音の中で生活していることが多いので、風や雨の音を感じたり、鳥や虫の声、友だちの小さな声にも耳を傾けられることを大事にしている。そして今後も、子どもたちが安心してゆっくりと成長していける環境を整えることができているか、教員間で確かめ合っていきたい。実際に朝の集まりを体験していただいたことで、本園の教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連について、保護者の方に事前に伝えた内容をより理解していただいたようだ。今後もクラス懇談会において、保護者の方が体験する機会を設けるようにする。

## (2) 年中組9月クラス懇談会

### 絵本・絵本の貸し出しについて

#### 【現状の説明】

本園では、子どもたちが物語の世界を想像して楽しむ経験は大切であると考え、降園

前に教員による読み聞かせの時間を設けている。

絵本の読み聞かせでは、以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識している。

- 「健康」 ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
- 「人間関係」 ・身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。  
・友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする。
- 「環境」 ・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。
- 「言葉」 ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。  
・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、先生や友達と心を通わせる。
- 「表現」 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。  
・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。

絵本は、昔話や季節に合ったもの、子どもたちが興味をもって楽しめるもの、子どもの成長段階に見合ったものを選んでいく。様々な物語との出会いが子どもたちの興味や関心を広げて、より楽しめる活動となるようにしている。(健康・言葉)

物語の世界を想像して楽しむ中で、様々な思いを巡らせ、その思いを教員や友だちと共有することが大切であると考えている。そのために、読み聞かせの際は1ページずつじっくり堪能できるように読んだり、読み終わった後の余韻を大事にしている。また、教員の思いを押し付けるのではなく、子どもの呟きを聞き逃さず、それぞれが感じた思いを大切にできるようにしている。(言葉・表現)

教員は読み聞かせる上で、子どもたちが絵を見てお話に耳を傾け、想像力を膨らませることができるように、抑揚をつけすぎることなく語るようにしている。絵本という言葉に耳を傾けることで、言葉の響きや内容の美しさを感じ、言葉の感覚を豊かにできると考えている。また、次々と新しい絵本を読むのではなく、同じ絵本を何度も読んで楽しめるようにしている。同じ絵本を繰り返し読むことで、子どもたちは新たな発見をし、物語をより深く楽しむことが出来る。物語に深く入り込むことで、子どもたちは未知の世界に出会ったり、想像上の世界に思いを巡らせることができる。わくわくしたり、ドキドキしたり、驚いたり、感動したりと様々な気持ちに触れることで、幼児期に他人の思いや痛みを知る機会にも繋がるような体験をすることが大切であると考えている。(人間関係・言葉・表現)

また、読み聞かせの時は、後ろの友だちが見やすいように座り、私語をしない等、集団での読み聞かせの決まり事を子どもたちに伝えている。(人間関係)

9月に行った年中組のクラス懇談会では、普段教員が園児の前で読み聞かせをして



いる雰囲気を感じてもらえるよう、保護者へ向けて絵本の読み聞かせを行った。

絵本の貸し出しについては、現在約 5,000 冊の絵本が「絵本のへや」にあり、園児や保護者に貸し出しを行っている。年中・年長児には週 1 回貸し出し、年少児には、保護者や教員が選んだ絵本を読み聞かせることを重視しているので、自分で絵本を選ばせての貸し出しは行わず、保護者に貸し出しをしている。

絵本の貸し出しでは、以下のような幼稚園教育要領の 5 領域のねらいと内容との関連を意識している。

- 「健康」 ・幼稚園における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。
- 「人間関係」 ・共同の遊具や用具を大切にし、皆で使う。
- 「環境」 ・身近な物を大切にする。  
・身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
- 「言葉」 ・日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。  
・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。
- 「表現」 ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。

保護者には、家に持ち帰った絵本の置く場所を決めて大切に扱うように働きかけてほしいこと、貸し出した絵本を保護者が読み聞かせて、子どもが文字に興味を持ち始めても、文字を追うことに一生懸命になってしまわず、親子で一緒に物語の世界を楽しむ時間を大切にしてほしいことを働きかけている。(健康・人間関係・環境・言葉・表現)

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、『絵本・絵本の貸し出し』に関して、幼稚園教育要領の 5 領域と関連していると思いませんか。』という設問に対し、「A：思った」との回答が 96.8%であった。また、『絵本・絵本の貸し出し』の話や絵本の読み聞かせを聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですでお書きください。』との設問に対しては、「園では子どもの想像力を膨らませるように読まれているということが印象的でした。家では同じ絵本ばかりでは飽きてしまうのではないかと思い、色々な絵本を選ぶようにしていましたが、同じ絵本を繰り返し読み子どものイメージを大切にすることが必要だと教えていただきました。」、「絵本の読み聞かせ方での抑揚をつけずに読み聞かせることの大切さや、同じ絵本を何度も読むことの大切さが子どもの想像力や表現力を大きくすることに大切なことだと勉強になりました。」、「間のとり方や強弱がとても聞きやすく、子どもに読み聞かせる参考にしようと思いました。」、「最近文字に興味が出てきて、自分で読みたいと言ったり、文字を追うことが多かったので、また読み聞かせを大切にしていこうと思いました。」という回答があった。

これらのアンケート結果から、本園が絵本の読み聞かせをする上で大切にしていることが保護者にも理解していただけたことがわかった。また、クラス懇談会で保護者に向けて教員による読み聞かせの時間を持つことで、家庭での読み聞かせに活かそうとする保護者の思いが伝わってきたので、今後もこの働きかけを続けていきたい。絵本の貸し出しに関しては、「図書の貸し出しが始まり、毎回どんな絵本を選んでくるのか子ども以上に楽しみにしています。」「絵本を大切に読む、読んだ後は返す日まで置く場所を決める、など子どもも最初はわかっていなかったようですが、今では絵本を大切にしています。」「家でも本の扱いをより気を付けようと思いました。」という回答があった。今後も、園児に絵本を大切に扱うことを伝えながら絵本の貸し出しを行い、家庭でも読み聞かせのひとつを大切にしていただけるよう努めていきたい。

### (3) 年長組9月クラス懇談会

#### 戸外での自由遊びについて

##### 【現状の説明】

本園では戸外での自由遊びを通して、全身を使い平衡感覚・視覚・触覚・空間認知能力等を育むことや、友だちと遊ぶ楽しさを感じ、一緒に遊びながら心が繋がっていくこと、太陽の光や風を感じ季節の変化に気づくこと、自然に触れ虫や小さな生き物の命を感じることを大切にしている。これらの体験を重ねる中で、以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいや内容との関連を意識して取り組んでいる。

- |        |  |
|--------|--|
| 「健康」   | <ul style="list-style-type: none"><li>・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。</li><li>・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。</li><li>・進んで戸外で遊ぶ。</li></ul>   |
| 「人間関係」 | <ul style="list-style-type: none"><li>・身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に生活する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。</li><li>・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気づく。</li><li>・友だちのよさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。</li><li>・共同の遊具や用具を大切にし、皆で使う。</li><li>・友だちと楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする。</li></ul>                                       |
| 「環境」   | <ul style="list-style-type: none"><li>・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、様々な事象に興味や関心をもつ。</li><li>・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。</li><li>・生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。</li><li>・日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。</li><li>・季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。</li><li>・身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気づき、いたわ</li></ul> |

たり、大切にしたりする。

- 「言葉」
- ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。
  - ・したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。
- 「表現」
- ・いろいろなものの美しさなどの対する豊かな感性をもつ。
  - ・生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。

戸外での自由遊びの際には、遊びの中で水が使えるよう、常時たらいに水を入れている。水や土に触れ、水が土に染み込んでいく様子や溜まっていく様子、土が泥になっていく感触等を子どもが味わえるようにしている。また、バケツやじょうろに入った水がこぼれないように運ぶことやシャベルで土を掘ることは全身運動であり、幼児期の身体づくりに繋がると考えている。（健康・環境・表現）

戸外での遊び道具としては、縄跳びや一本下駄、竹ぼっくりや竹馬といった個人で遊ぶものと、鉄棒や山登り等の固定遊具があり、友だちが遊んでいる姿を見て興味を持ち、自分もできるようになりたいと挑戦する姿が見られる。遊びを通して、諦めずにやり続けることや、できた喜びを感じることができるよう働きかけている。（健康・人間関係）

また、鬼ごっこやへびじゃんけん、ドッジボール等、ルールがある遊びを取り入れている。クラスで担任教員と一緒に体験した集団遊びが、子どものものとなり、自然に子ども同士の遊びとして楽しめるようにしている。ルールを守りながら遊ぶことで、相手の気持ちを考え思いやることに繋がるように働きかけている。（健康・人間関係・言葉）

子どもたちは園庭で、アリやバッタ、青虫、セミ等、季節と共に色々な虫や草花を見つける。観察する中で、生き物に優しく接することや命の大切さが、子どもたちの心に根付くようにと考えている。（環境・人間関係・言葉・表現）

春は太陽の光や風の柔らかさ、木々の芽吹き、夏は太陽の光の強さ、秋は木々の紅葉や風の心地よさ、冬は太陽の温かさや風の冷たさなど、日常の中の自然を感じ、自然の美しさに目を向け、感じたことを言葉で表現することによって友だちと共有し、同時に季節の変化に気づけるよう働きかけている。（環境・人間関係・言葉・表現）

友だちと一緒に遊ぶ中で、自分の思い通りにならないこと、喧嘩になることもある。そこで自分の気持ちを言葉で伝えたり、自分の気持ちに折り合いをつけたり、相手の気持ちに気付く経験を大切に考え、個々に応じた働きかけを行っている。（人間関係・言葉）

9月のクラス懇談会では、戸外での様々な経験が子どもの体幹や運動能力を育み、人間関係や自然と生き物の尊さを知る機会になっていることを、子どもたちが遊ぶ姿を通して保護者に伝えた。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、「『戸外での自由遊び』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連している思いましたか。」という設問に対し、「A：思った」との回答が98%であった。また、「『戸外での自由遊び』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですでお書きください。」という設問に対し、「普段何も考えずに行っている行動にも、子どもの成長にとって大切な要素がたくさん含まれているのだなあと思った。」、「先生の言葉がけでより季節を感じる事ができていたのだなあと嬉しく思いました。」、「5領域というある種堅苦しい言葉が、子どもたちの保育の中でいかにいきいきと自然な形で育まれているかを改めて知り、改めて心に深く響きました。」、「豊かな環境の中で、これから身に付けていく知識のための根っこの部分を培っているのだなあと思いました。感受性が育ち、今後の人間力に繋がるのではと思います。」という回答があった。これらのアンケート結果から、本園が大切にしていることを理解していただけたこと、そして、戸外での自由遊びの中に子どもの成長や発達を促す大切なことが含まれていることを感じていただけたことがわかる。これからも戸外での自由遊びを通して、子どもたちが健康な心と体を育めるように働きかけていきたいと考える。

#### (4) 年少組 11月クラス懇談会

##### 歌・手遊びについて

###### 【現状の説明】

本園で取り入れる歌・手遊びは、年齢や季節に合ったもの、身近に感じられる題材のもの、言葉のリズムや繰り返しの面白さが感じられるようなものを選び、それらを繰り返し楽しむことを大切にしている。一般的にはテンポが速く、気持ちを高揚させるような歌や手遊びが多いが、本園では単に子どもを喜ばせるものではなく、生活の中になじむような歌や手遊びに触れさせている。教員や友だちと歌を歌ったり、手遊びをすることで、楽しい気持ちを共有し、歌う楽しみや喜びを感じ、ゆったりと過ごせる時間になるように、常日頃から生活の中に取り入れている。

これらの取組は、以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容に関連している。

- |        |  |
|--------|--|
| 「健康」   | ・先生や友だちと触れ合い、安心感をもって行動する。<br>・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。      |
| 「人間関係」 | ・身近な人と親しみ、関りを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 |
| 「環境」   | ・季節により自然や人間の生活に変化があることに気付く。                            |
| 「言葉」   | ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝えあう喜びを味わう。          |
| 「表現」   | ・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。                            |

雨が降ったら雨の歌、花が咲いたら花の歌…と、園生活の中で、その時その場面に合った歌を教員が自然と口ずさむことで、子どもたちに、季節を感じたり自然の変化に目を向けられる感性を育ててほしいと考えている。（環境・表現）

教員は一緒に空間で楽しみを共有し、子どもたちが知っていることや感じたことを伝えあったり、心動かされた時の気持ちに寄り添いながら歌を歌ったり、手遊びを楽しめるよう配慮している。（健康・人間関係・言葉）

今年度は感染予防として、しっかりと手洗いが出来るよう教員が歌を作り、歌に合わせて行えるようにした。手洗いの仕方を伝えなくても、口ずさみながら手を動かし、手洗いをしている姿が見られ、子どもたちの姿から歌と生活がつながっていることを改めて感じた。

従来から、歌う時には大きな声で歌うのではなく、教員の声や周りの友だちの声を聞きながら歌うことが出来るように指導している。今年度は、全園児の集会で歌う機会は持てなかったが、日頃から周りの声を聞きながら歌うよう指導しているので、ピアノに合わせて歌うことも自然と出来るようになっている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、『歌、手遊び』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。』という設問に対して、「A:思った」との回答が100%であった。また『歌、手遊び』の話の聞いたり、一緒に行ったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのお書きください。』という設問に対しては、「歌と共に季節を感じる事が出来てとても良いなと思った。」、「季節や生活に密着したもので、何気なく見過してしまっている事を改めて感じ取ることが出来るように取り入れてくださり、改めて嬉しく、ありがたい事だなと感じた。」、「家でもふとした時に自然と歌がでてきているので生活になじんでいるのだと思った。」等の回答があった。これらのアンケート結果から、本園が大切にしていることを理解いただけていることがわかった。今後も、家庭でも自然や季節の変化に興味や関心を持ってもらえるよう取り組んでいきたい。また、子どもたちには、歌や手遊びを通して四季の移り変わりを感じられるように、今後も教育内容に取り入れていく。

### （5）年中組 11月クラス懇談会

#### 自由遊びについて

##### 【現状の説明】

本園では、自由遊びの時間を大切に考えている。自由遊びと聞くと、子どもの思うまま自由にさせているという印象を持たれがちだが、本園が考える自由遊びは、それぞれの子どもが自分のしたい遊びを見つけ、その遊びに夢中になって、想像力を膨らませ、工夫して遊ぶということである。そのため、教員は子ども一人ひとりの個性を理解し、それぞれの子どもが遊びたい遊びを見つけられるように関わっている。また、自由遊び

において、子ども同士が関わって遊ぶという経験は、人と関わる力や協調性、社会性を身につけ、子どもの「生きる力」へと繋がるものである。そのため、教員は子どもたちが興味を持って遊べるような環境や遊びを提供したり、遊びの楽しさやルールを伝え、人との関わりを学んでいけるよう、年齢や発達段階に応じて働きかけている。遊びを見つけて没頭したり、友だちと共有して楽しめるまでには時間が必要であるため、子どもが夢中になって遊べる時間を十分確保できるよう考慮して保育を行っている。

本園が考える自由遊びには、人と関わりながら自己を育む要素がたくさんあり、以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容に関連している。

- 「健康」 ・明るくのびのびと行動し、充実感を味わう。
- 「人間関係」 ・幼稚園生活を楽しみ、自分で行動することの充実感を味わう。  
・身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、強力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。
- 「環境」 ・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。
- 「言葉」 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。  
・生活の中のイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
- 「表現」 ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。

友だちとの関係ができ、関わり合うことで、新しい発見や驚きの中から、遊びに豊かな発想が生まれる。そうした経験と共に、子どもの遊びは変化していく。また、「いっぱい遊べた」、「楽しかった」という思いは、満足感や達成感、充実感を与え、次の活動への意欲にも繋がっていく。（健康・人間関係・表現）

遊びの中では、おもちゃの取り合いや、意見の食い違い、思い通りにいかないことで友達と喧嘩になることも日々ある。しかし、そのようなやりとりを通して、子どもたちは、伝えることの大切さや、使いたいおもちゃや場所を譲り合うこと、喧嘩になっても仲直りできることなど、相手の存在を認め人と関わる上でのコミュニケーションの方法を学んでいる。（人間関係）

遊びの時間は、子どもにとっては必ずしも楽しいことばかりではないが、思い通りにいかない、あるいは我慢しなければいけない経験が子どもの成長には必要であると考えられる。加えて、嬉しいことや悲しいこと、悔しいことなど、自分の気持ちを言葉で伝える経験を大切にしている。現在、子どもの中には、言葉で伝える代わりに手が出てしまう姿、大きな声を出す姿も見られるが、その都度教員が間に入って、自分の気持ちを言葉で伝えることの大切さを伝えている。（言葉）

本園では、自然木や木の積み木、人形や布など、子どもが自由に想像し、組み立てて遊べるような素朴な遊具を使用している。遊びでは、積み木を電車のチケットやお金に使ったり、おままごとでお寿司やスープの材料になる等、子どもによって様々なイメージづけられて、“見立て遊び”や“模倣遊び”が展開されている。玩具店に行くと幼児向

けの TV 番組に関係した遊具等がたくさん出回っているが、それらを使った遊びは受容的なものである。子どもが本来生まれながらに持っている“想像”・“創造”する力をさらに育むには、遊具が素朴であることに意味があると考え、素朴さを重視したおもちゃを選び、与えている。（環境・表現）

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、『室内での自由遊び』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。』の設問に対し、「A：思った」との回答が98%であった。また、『室内での自由遊び』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですでお書きください。』の設問に対し、「自由遊びの中で、発想力・想像することを育てていくんだなと思った。」、「自由に遊ぶことで想像力が育まれ、自己表現の場があることはとても素晴らしいことだと思います。」、「すぐにではなくても、自分がやりたい遊びを見つけられることが、大事だというのが心に響きました。自分の好きなこと、得意なことを将来を見つけるための根元になるだろうなと思いました。」、「家の遊びでも、拾ってきたどんぐりや葉っぱを食器や食材に見立てる姿を見て、自由遊びで想像力が育まれているなど度々感じるがあります。」、「自由遊びの中で想像力や人間関係を学んでいることにとっても納得しています。」、「自分の遊びたいことを自分で見つけて遊べるのはとても楽しいことだろうと思います。」、「キャラクターではなく木のおもちゃの良さが分かった。」、「お話を聞いて改めてお家でのおもちゃ選びや環境を整えたいと思いました。」、「幼稚園を一步出ると、カラフルで子どもにとって興味を引かれるような物に溢れているので、園の中で素朴なおもちゃに囲まれて見立て遊びや想像力を働かせるような遊びが思いきりできる環境は本当にありがたいなと思います。」等の回答があった。これらのアンケート結果から、本園で行っている自由遊びの様子や大切にしていることが保護者へ伝わったことが分かった。今後も自由遊びで、子どもたちが遊びに夢中になれる時間と子ども同士の関わり合いを大切に、子ども同士が刺激し成長し合える環境、保育を行っていけるよう、日々保育内容を見直しながら子どもたちと関わっていくことに努める。

### （6）年長組 11 月クラス懇談会

#### 整理整頓・片付け・掃除・手伝いについて

##### 【現状の説明】

基本的な生活習慣の形成にあたっては、家庭での生活体験の違いに配慮しながら、子どもの自立心を育て、主体的に行動できるようになることを目指している。自分の持ち物を所定の場所に置く、制作時に使ったものを自分の道具箱に戻す、遊んだ物を元の場所に片付けるなど、整えることや片づけることが気持ちの良いことだと感じられるように、年齢に沿った働きかけによって身に付くようにしている。また、自分の役割を理解して活動することができ、活動の内容やそれに関する自分の気持ち等を自分の言葉で

表現し、伝えることができるように、働きかけている。

園生活を通して、子どもたちがいろいろな経験を積み重ねていく中で、以下のような幼稚園教育要領の5領域のねらいと内容との関連を意識して、取り組んでいる。

- 「健康」
  - ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。
  - ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
  - ・幼稚園における生活の在り方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。
- 「人間関係」
  - ・身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい愛情や信頼感を持つ。
  - ・社会生活における望ましい態度を身に付ける。
- 「環境」
  - ・日常生活の中で数量や図形などに関心を持つ。
  - ・身近な動植物に親しみを持って接し、生命の尊さに気づき、いたわったり大切にしたりする。
  - ・身近なものを大切にする。
- 「言葉」
  - ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。
  - ・話を自分の経験と結び付けたり、豊かなイメージを持ち、新しい言葉や表現に触れ、これらを使う楽しさを味わえるようにする。
- 「表現」
  - ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
  - ・様々な出来事の中で感動したことを伝え合う楽しさを味わう。

また、それぞれの領域が相互に関わり合いながら、子どもの成長・発達を導くものとして保育を組み立てている。

整理整頓・片付けについては、年少児は、まず担任との関わりにおいて、片付ける場所を知らせ、遊んだ物を決められた場所に自分で持っていくことを繰り返し経験させるうちに、友だちに手を貸すようになる。年中・年長児になると、足りない物や数が合わない物を探したり、友だちと協力してクラスのみんなで片づけるようになる。また、定期的にロッカーの整理整頓・カバンのしまい方等の声かけを行うことで、自分から意識できるようにしている。（健康・人間関係・環境・言葉）

掃除については、週に一度掃除の日を決め、自分で雑巾を絞り、ロッカーや椅子を拭き、ロッカー内の整理整頓を年中・年長児は行っている。年少児には、年末に、担任が絞った雑巾を渡し、椅子とロッカーを拭くことを経験させている。また、年中・年長児には、制作後に、自分の周りに落ちている紙等を拾い捨てることを重ねることで、普段から床に落ちている物に目を向けられるようにしている。（健康・人間関係・環境）

手伝いについては、年中児には絵本の返却（絵本の部屋まで返却本が入った籠を友だちと一緒に運ぶ）と、家に持ち帰る手紙を友だちに配る手伝いをさせている。年長児に



は年中児の手伝いに加え、トマトの水やり、こいのぼりの揚げ降ろし、小鳥・カモの世話をグループで行う当番活動をさせている。また年長組では、当番活動の後、クラスで“伝え合いの場”を持ち、自分の思いや考え、見つけたことを言葉で表現する経験から、友だちと心を通わせる嬉しさを大切にしている。聞いている子どもには、出来事や友だちの気持ちを想像しながら聞くことで、言葉の表現を広げる機会に繋がるように働きかけている。(健康・人間関係・環境・言葉・表現)

また、年長児の手紙や制作時の材料を配る手伝いにおいては、グループの人数を把握し、簡単な数が理解できるように働きかけている。小鳥・カモ当番では、子どもがカモの餌にする野菜を包丁を使って切る際、カモが食べやすい大きさを意識させている。(健康・人間関係・環境・言葉・表現)

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケートによると「『生活(手伝い・片付け・掃除・整理整頓)』に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。」という設問に対し、「A:思った」との回答が95%であった。また、「『生活(手伝い・片付け・掃除・整理整頓)』の話を読み、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「家でお風呂に入る時、脱いだ服を畳んでいる姿が印象的です。園生活で自然と身に付いた姿に触れ嬉しく思いました。」「手伝いをしたいと言う気持ち、やる気を大切にしたい。心の発達や言葉の発達、人間関係にも関係があるのかと改めて考えさせられました。」「生活で人間関係や言葉の使い方に関わっていると聞き、家ではただ掃除・片付けをすると5領域に関連させていなかったのでも家でも心がけてみたいと思いました。」との回答があり、懇談の話から家庭での関わりを振り返り、園と共に子どもの育ちを支えていこうとする声があった。保護者への働きかけから、子どもの育ちを保護者と同じ方向を向き一緒に考えていける懇談であることの大切さを実感し、今後も家庭と連携できる懇談会が行えるように努める。

## 5 学校関係者評価委員会からの評価結果

〈自己点検・評価の適切性〉

関西大学幼稚園では、2009年度から毎年自己点検・評価を行ってきた。2017年度までは幼稚園教育を行う上で重要な内容を3分類し、3年で一巡する形を取っていた。2018年度からは、クラス懇談会に焦点を絞って、教育内容の意図するところを保護者が理解し、それが子育てに役に立っているかを2年かけて点検・評価するというものであった。本園がこれまで行ってきたいずれの自己点検・評価も、保護者から高い評価を得てきた。

本年度からの新たな自己点検・評価方法は、本園の教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連に焦点を当て、3年かけて一巡するものである。もともと本園では、幼稚園における生活の全体を通して、子どもたちが様々な経験を積み重ね成長するには、健康・人間関係・環境・言葉・表現の5領域が個別に存在するのではなく、多数の領域内容が含まれた教育内

容が必要であると考え、すでに総合的な教育を行ってきている。このことについて、本園のホームページにも掲載し、保護者や関係者に周知してきた。これに加えて、保護者のより深い理解を得るために、園では、幼稚園教育要領の5領域を示したプリントを配布するとともに、クラス懇談会で園の教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連を直接伝え、園の教育に5領域を組み込んでいることへの理解を図った。この方法を用いることで、日頃、園で行われていることを保護者が再認識し、その位置づけや意義を理解することにつながったと考えられ、自己点検・評価が適切に行われている。

また、子どもの健やかな成長を保障するために、保護者が本園の教育について理解を深め、園が保護者の保育ニーズを理解するというように双方向の理解を進めてきたからこそ、本年度からの新たな自己点検・評価が可能になったことはいままでもない。園と保護者との間に構築されてきた信頼関係があればこそその自己点検・評価となっている。

#### 〈重点的な取組の適切性〉

学年ごとに、クラス懇談会で教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連についてアンケートを行っている。

本年度は、年少組の保護者に対して、9月には「朝の集まり、帰りの集まり」、11月には「歌・手遊び」について尋ねている。「朝の集まり、帰りの集まり」は、入園当初、集団になじむために同じクラスの友だちと一日の始まりに顔を合わせ、他児の様子を見聞きすることで、クラスの友だちについて知り、自身もクラスの一員であることを自覚していく大切な集まりである。また、母子分離のできない子どもにとって見知らぬ子や教師の存在は脅威であり、保護者と離れて教室に一人である苦しみを味わうことになるかもしれない。そのような時、似たような子どもの存在が一人ではない安心感につながることもある。また、「帰りの集まり」はみんなといて一人遊びよりももっと楽しいことを実感する時間でもあろう。これについては、保護者の98.3%が5領域との関連を理解している。11月の「歌・手遊び」について、教師は季節や自然の変化に目を向けられる感性を育ててほしいという考えで対応している。これについては全ての保護者が5領域との関連性を理解している。

年中組には、9月には「絵本・絵本の貸し出し」、11月には「室内での自由遊び」について尋ねている。子どもにとって、絵本は現実を知る術であり、想像を膨らませる手段にもなる。絵本を通して知る世界は子どもたちに多くの感動を与え、場合によっては悲しみやつらさを経験する機会を与えることにもなる。また、絵本を見聞きすることで、絵だけではなく文字で表すことができることを知る機会にもなり、言葉そのものへの関心も高まる。「絵本の貸し出し」は、子どもが読みたいものを選び、それを保護者と共有する大切な時間を提供する。保護者は園での子どもの様子を知ることできるし、子どもの心の世界を垣間見ることできる。また、「絵本の貸し出し」はルールを学ぶ場でもある。借りたものを大切に扱い、決められた通りに返却する。そのような約束事を理解する格好の機会となり、保護者の96.8%が5領域との関連を理解している。11月の「室内での自由遊

び」については、98%の保護者が5領域との関連を理解している。本報告書にもあるが、自由遊びと聞くと子どもの自由にさせている印象を持つかもしれない。しかし、遊びが決められている設定保育と異なり、自由遊びは子どもが自身の意思で選び、遊びの中で自己表現するまたとない機会を提供する。発想の豊かさ、独自性を受け入れられた子どもは他の誰とも異なる自身の固有性を身につけていく。このことは、大人になってからも他者に埋没しない自分というものを持って生きることにつながるであろう。

年長組に対しては、9月には「戸外での自由遊び」、11月には「生活（手伝い・片付け・掃除・整理整頓）」について尋ねている。「戸外での自由遊び」は室内とは異なり、身体を使って活発に遊ぶことも多い。場合によっては自身の身体やエネルギーをコントロールすることも必要になってくる。ボールや他の遊具を使った遊びでも、思いのままに力を加えることが、自身や他児の思わぬけがにつながることもあり、注意深い振る舞いが求められる。このため、他者への配慮を学ぶ良い機会にもなる。保護者の98%が5領域との関連を理解していた。「生活（手伝い・片付け・掃除・整理整頓）」は、家庭生活の影響を最も受けやすいものである。このため、全てに対して園で対応することは難しい。しかし、生活に関わる全てのことが、他者への配慮の上に成り立っている。自身が使ったものを片付け、整理整頓し、汚れていれば掃除をし、手いっぱいと同じように掃除等ができない他児に対して手伝うという行為は、他者への配慮を生み出し、成長してから社会生活を送る上で必要な他者視点を持つことにつながる。保護者の95%が5領域との関連を理解していた。

以上のように、ほとんどの保護者が幼稚園教育要領の5領域と本園の教育内容との関連性を的確に理解しており、本年度の重点的な取組は適切なものとなっている。

#### 〈自己点検の結果を踏まえた改善方策の適切性〉

報告書にもあるように、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により発出された緊急事態宣言を受け、4月・5月の休園を経て、6月から園を再開するという、これまでにない園運営となった。園の再開後も、日本中でウイルス感染拡大が複数回繰り返される中で、教育・保育施設は休校・休園にしないという政府の方針はあったものの、保護者は孤立感や不安でいっぱいの日々を過ごすことになったであろう。子どもは親の気持ちや行動に非常に敏感に反応する。保護者が不安を募らせれば、子どもはすぐに察知して自身も不安になる。いつになくいらしたり、そわそわしたり、言葉では表せないからこそ、態度に現れる。しかし、本人は自身の気持ちが理解できないし、もし、自身の心の変化に気づいたとしても、保護者に心配をかけまいとして、取り繕うようなことがあるかもしれない。信頼しあっている親子であるからこそ、余計に相手を思いやり、過剰に反応することがあるだろう。不安が不安を呼び起こすのである。

そのような状況を察知し、本園では、休園期間中も保護者に向けて家庭でできることを便りで発信し、園とのつながりが持てるよう働きかけてきた。保護者はそれを的確に受け止め、

園の方針を理解し、協力した。だからこそ、「このような中であっても子どもは変わらず生活していた」、「園でも元気に活動していた」という保護者の声がいくつも聞かれたのである。それは子どものたくましさに対する驚きと称賛でもあったが、子どもたちがそのようにいつもと変わらない日常を送ることができたことこそが、本園の何があっても変わらない、子どもたちがいつもと同じように安心して過ごせる環境を守りたいという思いが表れていたことを示している。通常ではない生活にあって、自身が自身のままでいられる園は、子どもにとっても保護者にとっても心の安定に大きく寄与するものとなった。

本園の自己点検・評価は幼稚園教育要領の5領域で求められている教育と、園での実際の教育内容を比較検討する内容まで含む新たなステージに入った。これは園の教育の質や教師の教育者としての資質を問われることにもなり、教師に自身の教育のあり方について問いかけることにもなる重大な転換点ともいえる。幼稚園教育に向かう本園の心意気を感じられる自己点検・評価である。もちろん、教育年数や経験によって教師の関わり方には差がみられるが、本園では子どもの教育を担任教師一人に任せるのではなくて、全ての教員が側面から子どもたちに関わるような仕組みを取っており、教師の層の厚さが有効に機能している。また、このような自己点検・評価が行えるのは、これまで培われてきた、伝えれば応えてもらえるという園と保護者との厚い信頼関係があればこそであろう。

一般に、子ども及び保護者と園とのつながりは子どもが在籍している期間に限られる。しかし、本園では卒園後も子どもと保護者が来園することも多く、親子二代にわたって入園する方もいる。個々のつながりを超えて、子どもが成長してからもつながっていく存在であり続ける本園の教育や園そのもののあり方について、本委員会は高く評価している。

## 6 「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書

関西大学幼稚園

園長 藤川 友香

本園の学校評価（自己点検・評価）は、2018年度より「関西大学幼稚園教育課程」における教育内容やその意図が保護者に十分伝わっているか、子育てに役立つものになっているかを各学年のクラス懇談会を通して点検・評価してきた。保護者へ教育内容を伝える手段としては園だより・学年だより等の便りがあるが、クラス懇談会は教員が保護者に直接教育内容を具体的に伝えることのできる機会であり、クラス懇談会を有意義なものにすることが、家庭と園との連携を深めることになると考える。そこで、今年度も保護者に直接働きかけることのできるクラス懇談会を重視し、今年度からは「関西大学幼稚園教育課程」における教育内容と幼稚園教育要領の5領域との関連に焦点を当て、3年かけて点検・評価することとした。幼稚園教育要領の5領域については、事前に保護者に手紙で周知し、クラス懇談会で本園の教育内容を5領域に関連づけて伝え、理解していただけるように働きかけた。

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼児期の特性を踏ま

えた充実した教育が行われることが求められている。近年、核家族化が進み、インターネットやデジタル機器が身近になるなど、子どもを取り巻く環境は変化し、非認知能力を育てる幼児教育の重要性は益々大きくなってきていると感じる。幼児期は生活や遊びを通じた経験を積み重ね、学ぶことが重要であり、日々の保育の積み重ねが子どもの生きる力に繋がると考えている。そして、幼児教育は小学校の教科学習とは違い、様々な領域が関連した総合的な教育である。それをクラス懇談会で子どもの具体的な姿を交えながら5領域と関連づけて伝えることで、本園の教育内容が子どもの育ちに繋がることを保護者により深く理解していただけたことを記述アンケートから知ることができた。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防により、様々な取組や行事が例年通りにできず、変化させたり、感染予防に努めながら工夫して行ってきた。クラス懇談会においても、できるだけ時間を短縮するために伝えたいことに焦点を絞って行うようにしてきた。このような状況下でもクラス懇談会に熱心に足を運び、アンケートにも丁寧に記述いただいた保護者の皆様の協力を深謝申し上げる。

今後も幼児教育の重要性を伝える使命感を持ち、学校評価を本園の教育内容に生かし、更に向上させることに努めたいと強く思う。

## 7 アンケート結果

2020年度学校評価についてのアンケート項目一覧・実施対象者別アンケート結果比較一覧表（関西大学幼稚園）

2020年度 関西大学幼稚園 教員対象 学校評価に関するアンケート（用紙）

2020年度 関西大学幼稚園 保護者対象 学校評価に関するアンケート（用紙）

以 上



アンケートにご協力をお願いします。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 「朝の集まり・帰りの集まり」では、教員や友だちの話を聞く姿勢を身に付けさせ、自分の体験したことや感じたことが話せるように取り組んでいますか。

- A 取り組んでいる
- B やや取り組んでいる
- C あまり取り組んでいない
- D 取り組んでいない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「朝の集まり・帰りの集まり」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 十分に意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

3. 「絵本の読み聞かせ」では、子どもの想像力を育めるように働きかけていますか。

- A 働きかけている
- B まあまあ働きかけている
- C あまり働きかけていない
- D 働きかけていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

4. 「絵本・絵本の貸し出し」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 十分に意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

5. 「戸外での自由遊び」では、子どもが遊びたい遊びを見つけ自主的に行動し、友だちとの関わりをもてるように働きかけていますか。

- A 働きかけている
- B まあまあ働きかけている
- C あまり働きかけていない
- D 働きかけていない

B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。

( )

6. 「戸外での自由遊び」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 十分に意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

7. 「歌」では、ピアノや教員や友だちの声に合わせて歌うことを意識させるように働きかけていますか。

- A 働きかけている
- B まあまあ働きかけている
- C あまり働きかけていない
- D 働きかけていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

8. 「手遊び」では、友だちと楽しさを共有できるように働きかけていますか。

- A 働きかけている
- B やや働きかけている
- C あまり働きかけていない
- D 働きかけていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

9. 「歌・手遊び」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 十分に意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった



B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

10. 「室内での自由遊び」では、友だちと関わり、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように働きかけていますか。

- A 働きかけている
- B やや働きかけている
- C あまり働きかけていない
- D 働きかけていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

11. 「室内での自由遊び」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 十分に意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

12. 「手伝い」を意欲的に取り組めるように働きかけていますか。

- A 働きかけている
- B やや働きかけている
- C あまり働きかけていない
- D 働きかけていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

13. 「生活（手伝い・片付け・掃除・整理整頓）」に関して、幼稚園教育要領の5領域との関連を意識して取り組むことができましたか。

- A 十分に意識して取り組むことができた
- B やや意識して取り組むことができた
- C あまり意識して取り組むことができなかった
- D 意識して取り組むことができなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2020年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年少9月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「朝・帰りの集まり」についてお伝えしました。

1. 「朝・帰りの集まり」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思われましたか。

（1つ選んでください）

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「朝・帰りの集まり」の話を聞いたり、一緒に行ったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2020年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年中9月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「絵本・絵本の貸し出し」についてお伝えしました。

1. 「絵本・絵本の貸し出し」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。

（1つ選んでください）

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「絵本・絵本の貸し出し」の話や絵本の読み聞かせを聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2020年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年長9月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「戸外での自由遊び」についてお伝えしました。

1. 「戸外での自由遊び」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思われましたか。

（1つ選んでください）

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「戸外での自由遊び」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2020年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年少 11月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「歌・手遊び」についてお伝えしました。

1. 「歌・手遊び」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いましたが。

（1つ選んでください）

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「歌・手遊び」の話を聞いたり、一緒に行ったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2020年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年中 11月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「室内での自由遊び」についてお伝えしました。

1. 「室内での自由遊び」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思われましたか。

（1つ選んでください）

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「室内での自由遊び」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2020年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート（年長 11月）

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「生活（手伝い・片付け・掃除・整理整頓）」についてお伝えしました。

1. 「生活（手伝い・片付け・掃除・整理整頓）」に関して、幼稚園教育要領の5領域と関連していると思いませんか。

（1つ選んでください）

- A 思った
- B まあまあ思った
- C あまり思わなかった
- D 思わなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

（）

2. 「生活（手伝い・片付け・掃除・整理整頓）」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---